

教 科		体育、保健体育
	指導の重点事項	努 力 事 項
指導計画の作成	◎ 具体的な体力向上推進計画の作成と実施	○ 子どもの実態等を踏まえた指導内容の明確化・体系化を図るとともに、「何をどのように教えるのか」を整理し、各種運動種目の単元構成や年間配当、時間配当、運動の取り上げ方を一層弾力化した指導計画を作成する。 ◎ 新体力テスト等の結果を踏まえ、自校の体力・運動能力の課題を解決するとともに、体力を高めるための具体策を盛り込んだ体力向上推進計画を作成・実施する。 (小)「運動身体づくりプログラム」の定着と継続的な実践 (中)運動の特性に応じた補強運動の工夫
指導の工夫	◎ 指導内容の整理と体系化を図った指導の充実  ◎ 多様な指導方法の工夫	【運動領域・体育分野】 ◎ 子どもの発達の段階を考慮し、各運動が有する特性や魅力に応じて、基本的な動きや技能、知識が身に付くよう、指導内容の整理と体系化を図り、運動の楽しさや喜びを実感させる。 ○ 体づくり運動(系)は、すべての学年で指導し、体の動きを高める運動の必要性を感じさせ、学習したことを実生活に生かすことができるように指導方法を工夫する。 ○ 個々の生徒の実態に応じた指導を通し、運動技能の習得や向上など、子どもが自己の変容や成長を実感できるようにする。 【保健領域・保健分野】 ◎ 健康に関心をもてるよう、多様な指導方法を工夫する。 ・知識を活用する学習活動を積極的に行う。 ・ICTの活用や実習・実験、課題学習等を取り入れる。 ・養護教諭や栄養教諭等の専門性を有する教職員の参加協力を推進する。 ○ 保健領域(保健分野)と運動領域(体育分野)相互の関連を図り、指導内容を充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る。
評価の充実	◎ 指導の改善に生かす指導と評価の一体化	◎ 評価の観点や評価の方法を明確にし、指導と評価の一体化を図る。

## 主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業の充実のために

### ポイント2「教材との出会い・学習課題の把握」      ポイント3「見通し」

#### 小5「ボール運動(ソフトバレーボール)」

前時(既習)の学習内容、反省から「問い」「思い・願い」を引き出し課題を設定する。

課題を解決するために何が必要かを考えさせ、解決に向けた「見通し」をもたせる。

前の時間のゲームでは、なかなかラリーが続かなかったな～。

#### めあて(課題)

ラリーを続けて楽しくゲームをしよう！  
～ラリーを続けるにはどうしたらよいでしょうか～

めあてを達成するためにチームや自分自身の弱点(課題)は何か、あげてみましょう。

ボールが来てもすぐに動けなかったから、素早く動けるように、立ち方を変えてみようかな？

誰がボールをとるのかわからなかったから、お互いに声をかければよいかな？

### ポイント5「まとめ・振り返り 新たな学び」

本時の学習で、「何を学習したのか」「何ができるようになったのか」を振り返らせ、今後の目標をもたせる。

今日の学習で分かったこと、できるようになったことは何か、学習カードにまとめましょう。

立つ時に姿勢を低くしたら、素早く動けることがわかったし、今までとれなかったボールがとれてうまくパスできた～！

この次、ラリーをもっと長く続けるには、どうすればよいでしょうか。

この次は、ボールが来る場所を予測して、お互いに早めに声をかけてみよう。